

認知症について考えよう ～地域包括支援センターだより～

9月は認知症への理解を深める月間です。

認知症になっても安心して暮らせる地域を目指しましょう。

認知症とはだれもがなりうる可能性がある脳の病気です。

原因はさまざまですが、脳の細胞が損傷を受けたり、脳の働きが悪くなったりすることで記憶力や判断力が低下し、日常生活に支障が出る状態です。

認知症は、多くの人にとって身近な病気です。症状について一人ひとりが正しく理解し、できることを取り組むことで安心につながります。

長島町においても、一人でも多くの町民の皆さんに認知症への理解を深めていただくため、次のような取り組みを行っています。



◎認知症サポーター養成講座

認知症の人やその家族が安心して暮らせるよう、認知症サポーター養成講座を実施しています。

認知症サポーターとは、何か特別なことをする人ではなく、認知症について正しく理解し、認知症の人やその家族を温かく見守る応援者です。受講者にはサポーターの証としてオレンジリングを配布します。

令和5年度は主に小・中学生を対象に開催しています。

◎そらだんごころ

毎月1回、認知症の人やその家族、専門職、地域の人が交流し情報交換しています。

ろばカフェでは、参加者もスタッフもみんなで楽しく過ごすことを大切にしています。

お茶を飲みながら、気軽に悩み相談や世間話などができるコミュニケーションの場です。

ろばカフェはどなたでも参加できます。



鷹巣小学校で開かれた養成講座の様子



次の□に文字を入れて、言葉を完成させてください



- ①こ□□す (秋を彩る花です)
- ②□つ□□も
(焼いても蒸かしてもおいしい食べ物)
- ③じ□う□や (満月と言えば?)
- ④ひ□ん□□ (赤い花が特徴の植物です)
- ⑤う□□う□い (小中学校の恒例行事です)

* 次回の「ろばカフェ」 *

○日時 10月13日(金)
午後1時30分～3時

○場所 町B&G海洋センター内ミーティングルーム(町文化ホール横)
※変更になる場合があります。

○費用 飲み物代 1人100円

ろばカフェでホッと一息
もの忘れが気になるかたや介護の悩みなど、
老若男女どなたでも相談できるカフェです。



問い合わせ先

役場介護環境課

地域包括支援センター

☎ (86) 1153 「直通」

